

第4学年 算数科学習指導案

令和4年10月26日(水) 6校時
 児童 第4学年7名 授業者 野村 拓子

1. 単元名 「8. 計算のやくそくを調べよう」(東京書籍)
2. 単元のゴールと指導

単元の目標	
計算の順序に関するきまりを理解し、四則に関して成り立つ性質やきまりについて理解を深められるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数量の関係を表す式について考える力を養い、問題場面の数量関係について考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
学習指導要領の位置づけ	
A(6) 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。	
ア 【知・技】	(7) 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。 (4) 公式についての考え方を理解し、公式を用いること。 (7) 数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすること。
イ 【思・判・表】	(7) 問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。
【学・人間性】	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学の良さに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

児童の実態	単元の学習の関連と発展
<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算は定着している。また、どのような場面でのような計算をすればよいかも身につけている。 ○立式はできるが、問題場面と照らし合わせながらどうしてその式になるのかを説明することが難しい児童が見られる。 ○自分で考え方を広げていくことが難しい。適用問題で場面が変わったり、必要のない数値が問題に含まれたりしている場合に解けなくなる児童が見られる。 	

単元計画【全9時間】	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 数量の關係に着目し、場面を1つの式に表したり読み取ったりする。習得 2. 四則混合の式の表し方と、2段階構造の計算の順序()の省略。習得 3. 3段階構造の四則混合や()のある式の計算の順序を整理する。習得 4. ドット図の並び方やまとまりに着目し、ドットの数の求め方を多様に考え、1つの式に表す。活用本時 5. 数や式の形に着目し、分配法則をまとめ、それを用いて計算を工夫する。活用 6. 式にある数に着目し、交換・結合法則をまとめ、それを用いて計算を工夫する。活用 7. 被乗数や乗数と積に着目し、乗法の性質を理解する。活用 8. 学習内容の習熟と振り返り 	
指導について	
<ul style="list-style-type: none"> ・式の組み立てと図を照らし合わせながら順序よく説明させる場面を設定し、説明する力を高めさせる。 ・実生活での問題場面を設定し、式をまとめると簡単に答えが導き出せることを実感させる。 	
研究主題との関連	
<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーを中心に授業を進め、学級みんなが学びを進めようと意欲的に活動する中で、学ぶことの楽しさと、協働することの大切さを実感させる。 ・問題解決に向けた情報共有をICTで行えるよう設定し、内容の深まりを生み出す。 	
授業後の子どもの姿(ゴール)	
<ul style="list-style-type: none"> ☆問題場面を正確に理解し、解決のための方法を図で示しながら式に表し問題解決を進めることができる。 ☆多様な考えができることに面白さを感じ、いろいろな考え方を試してみようと考えを広げていくことができる。 	

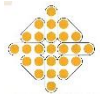
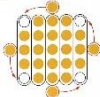
3. 本時の指導（全8時間 本時4／8）

(1) 目標 ドット図の並び方やまとまりに着目し、ドットの数の求め方を多様に考え、1つの式に表すことができる。

(2) 評価規準

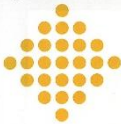

思・判・表 ドット図の並び方やまとまりに着目し、ドットの数の求め方を図や式を用いて考え、説明することができる。

(3) 本時の展開

	学習活動	留意点と評価
導入	1. 前時の復習をする。 2. 課題をつかむ。 図の○は何こありますか。 3. 見通しをもつ。 ICTを活用して意見をまとめる。 4. 既習をもとにめあてを決める。 ○の数を計算で求めることができるのかな。	・まとめて計算すると分かりやすかったことを振り返らせる。 これまでの学習とくらべて ・数えずに計算で求めることを確認する。 これまでの学習の活用 ・同じ数のまとまりを使って計算する。 ・1つの式にまとめる。 ・図を使って考え方を説明する。
展開	5. 自力解決をする。 ICTを活用して図に記入する。 ノートに式を書く。 6. 全体で検討し合う。  (式) $3 \times 8 + 1 = 25$  (式) $5 \times 5 = 25$	・説明する力を高めるために、友達が作成した図から式を導き出し、考え方を図を指し示しながら説明させていく。 ・教科書に示されている考えが児童の意見から出なければ、教師が式を示し、その考え方を考えさせる場面を設ける。 思・判・表 ドット図の並び方やまとまりに着目し、ドットの数の求め方を図や式を用いて考え、説明することができる。
まとめ	6. まとめ ドットをいくつかのまとまりに分けるといろいろな求め方で○の数を求めることができる。また、式から友達の考えを読み取ることができる。 7. 適用問題を解く。 8. ふりかえりを書く。	・次時につなげるためにふりかえりの視点を示す。

(5) 準備物 ドット図、クロームブック

(6) 板書計画

10/26		
問	図の○は何こありますか。	
見	(見方・考え方) ボード ○の数を計算で求めることができるのかな。	ドットをいくつかのまとまりに分けるといろいろな求め方で○の数を求めることができる。また、式から友達の考えを読み取ることができる。
ひ	○ 考え方をまとめる (ノート・ジャムボード)	
と	○ 友達の図を見て式を当てる (ペアでノートに書く)	P9 ⑦ 図の○は何こありますか。  ふりかえりの視点

